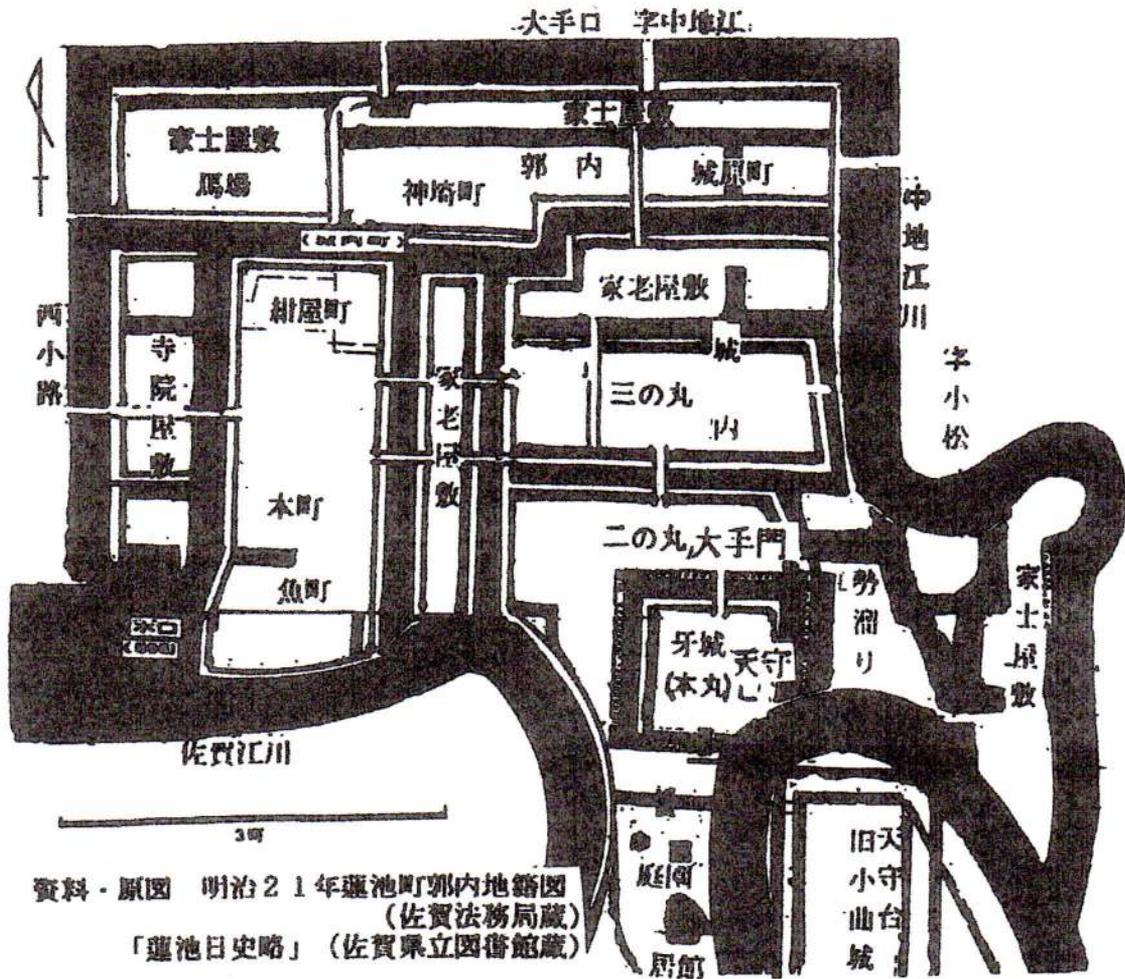
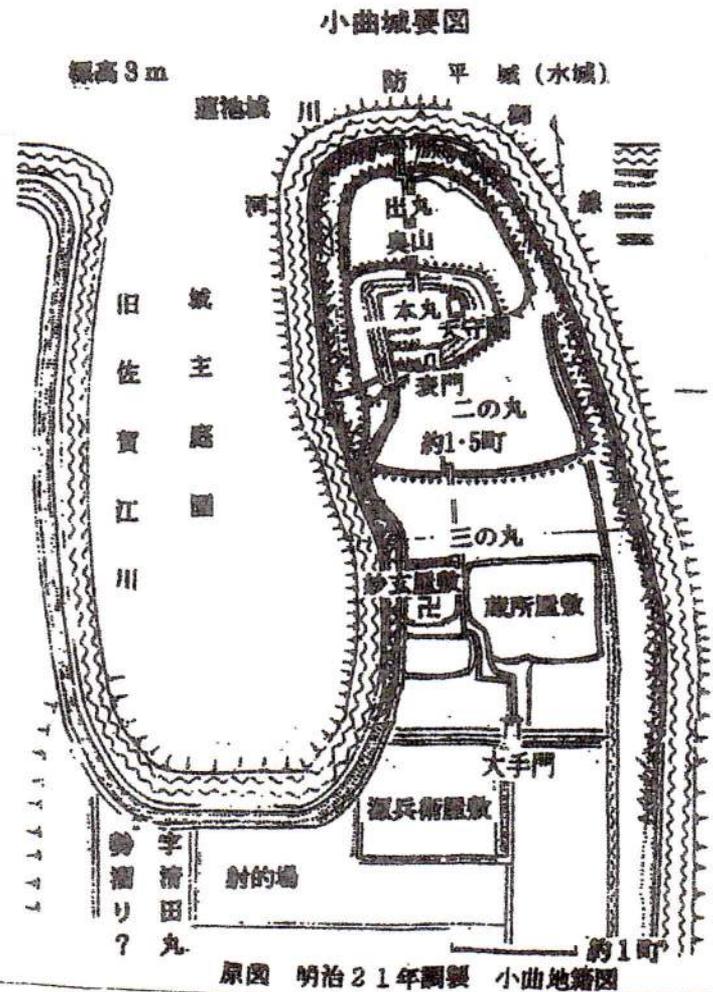


蓮池城要図(別名:芙蓉城)



小曲城要図



439032

帝國博物学協会

肥前國

蒲田江城



所在地
交通機関
別名
略歴

佐賀県佐賀市蓮池町小松
JR長崎本線 佐賀駅下車 佐賀市営バス 橋津下車 徒歩10分
蒲田城

現況

蒲田江城は、正平15(1360)年に南朝方の菊池武安が、鎮西出雲大社の警護のために築いたと言われている。
明応年(1492~1501)間、東肥前十九城将の一人として数えられた犬塚家重によって修築された。家重ははじめ少弐氏に属したが、少弐氏と龍造寺氏が対立すると龍造寺氏に従っている。
天正2(1574)年、豊後大友勢が龍造寺氏を攻撃した際には、犬塚尚重は大友勢に味方し、龍造寺氏側立った崎村城の犬塚鎮直と戦って討死した。
大友氏の攻撃も、鍋島直茂らの活躍によって撃退されると、尚重の後嗣であった鎮家は、龍造寺方の攻撃を防ぎきれずに筑後へ逃れ、蒲田江城は鎮西出雲大社と共に焼亡した。
天正4(1576)年、龍造寺隆信は有馬晴純との戦いを前に鎮家呼び戻し、再び蒲田江城を与えた。鎮家はこの戦いで戦功を上げ、新たに森岳城を与えられて移され、蒲田江城は廃城となった。
城址本丸跡には、豊臣秀吉の命で鍋島直茂が建立した鎮西出雲大社が鎮座している。
遺構としては西側の水濠が幸うじて残されているだけで、ほとんどの遺構は失われている。



鎮西出雲大社
鳥居



南西側水濠



西側水濠



ウバメガシ



説明版



鎮西出雲大社
境内と拝殿



東側堀跡

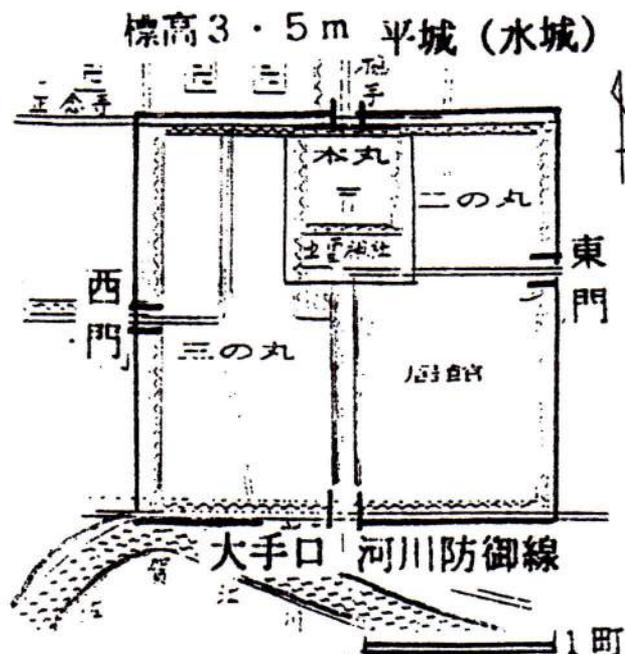


本丸北面



北西側水濠

蒲田江城要図



蒲田江(津)集落の東方、出雲神社の境内を中心とする平城。正平15年菊池武安の築城。戦国時代に犬塚家貞の次男家重が居城した。内堀を残す。